

各位

山形県立山形南高等学校長

令和2年度県立高等学校入学者選抜に係る変更について

現在の中学3年生が受検する令和2年度の入学者選抜について、現時点での計画として、下記の通り変更する予定ですのでご承知おきください。

記

(1) 推薦入学者選抜について

従来	変更
理数科において、入学定員の20%程度を募集する。	理数科において、 <u>推薦入学者選抜を実施しない。</u>

【理由】

- 理数科の教育課程では、より発展的な内容の専門科目として「理数数学」「理数化学」などを設置しているが、その基礎となる学力を有しているかどうか、学力検査を課して把握したいため。
- 探究科を含め本県の理数科設置校の中で、推薦入学者選抜を行っているのが本校のみであり、キャリア形成において特段普通科との差異が見出せず、実施の意義が薄れているため。

(2) 志願制限について

従来	変更
① 普通科を第1志望とする場合、理数科を第2志望とできる。	① <u>普通科を第1志望とする場合、理数科を第2志望とはできない。</u>
② 理数科を第1志望とする場合、普通科を第2志望とできる。	② 理数科を第1志望とする場合、普通科を第2志望とできる。

【理由】

- 理数科の学習内容が普通科に比べて高度化し、さらに週当たりの授業時数も大幅に増えたことで、普通科よりも高い学力と学習意欲が求められるようになったことを踏まえ、理数科においては、強く希望する生徒のみを入学させることが望ましいと判断したため。

(3) 傾斜配点の採用について

従来	変更
傾斜配点については、普通科及び理数科ともに採用しない。	傾斜配点については、普通科は採用しないが、 <u>理数科では数学と英語の得点を1.5倍して扱う。</u>

【理由】

- 本校の理数科は、数学を基盤とした高度な理数科目の学習が求められ、将来は国際的に活躍できる科学技術人材の育成を目的にしている専門学科であるため。なお、県の要項では「実施教科は1教科又は2教科」としており、高校入学時においては理科よりも英語が重要と判断した。